

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年6月9日(2023.6.9)

【国際公開番号】WO2020/251376
 【公表番号】特表2022-537941(P2022-537941A)
 【公表日】令和4年8月31日(2022.8.31)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-160
 【出願番号】特願2021-573931(P2021-573931)
 【国際特許分類】

10

A 6 1 M 16/16(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/16 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月30日(2023.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ導管を經由してユーザへ呼吸補助をもたらすための装置であって、該装置は、加湿チャンバが当該装置上の動作位置に設置され得る加湿モード、及び非加湿モードで動作可能であり、該装置は、

ガス流を発生させるための送風器と、

前記送風器と連通しているハウジング出口ポートを有するハウジングと、

前記ハウジングに対して可動である加熱アセンブリであって、前記加湿モードでは、当該加熱アセンブリは、加湿チャンバが前記加熱アセンブリによって係合され得る動作位置に設置され得、前記非加湿モードでは、当該加熱アセンブリは、前記加湿チャンバが前記加熱アセンブリに積まれることができない、しまい込み位置に設置され得る、加熱アセンブリと、

30

を含む、装置。

【請求項2】

前記ハウジングは、前記ユーザ導管と連通し得るハウジング入口ポートを有する、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記装置は、所定量の水を収容するための前記加湿チャンバを含み、前記加湿チャンバは、前記ハウジング出口ポートと連通するチャンバ入口、及び前記ハウジング入口ポートと連通するチャンバ出口を有し、前記ガス流を、前記加湿チャンバを通して流す、請求項2に記載の装置。

40

【請求項4】

前記加熱アセンブリは、前記加湿チャンバ内の水を加熱するための電力を受け取り、前記ガス流の加湿を高める、請求項2又は3に記載の装置。

【請求項5】

前記加熱アセンブリは、前記加湿チャンバに係合して水を加熱し、被電力供給機器と前記加湿チャンバとの間の前記係合は、熱的係合、電力係合、及び/又は電磁誘導電力係合のうちのいずれか1つ又はそれらの組み合わせを含み得る、請求項2～4のいずれか1項に記載の装置。

50

【請求項 6】

前記ハウジングは、本体と、前記本体に対して可動であるプラットフォームとを含む、請求項 2 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 7】

前記プラットフォームは前記ハウジングに旋回式に接続される、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記加熱アセンブリは、前記本体の外側面に配置され、前記加湿チャンバが前記動作位置にあるときの、前記加熱アセンブリと前記加湿チャンバとの間の熱的係合を促す、請求項 6 又は 7 に記載の装置。

10

【請求項 9】

前記加熱アセンブリは、前記本体の外周壁から外向きになるように配置されている、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 10】

前記加熱アセンブリは前記プラットフォーム上に配置され、且つ前記加熱アセンブリは、前記加湿チャンバが前記動作位置にあるとき、前記加湿チャンバに係合する、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 11】

前記加熱アセンブリは前記プラットフォームの内側部分に配置され、且つ前記加湿チャンバは前記加熱アセンブリに載置され得、それにより、前記加熱アセンブリと前記加湿チャンバとを係合する、請求項 10 に記載の装置。

20

【請求項 12】

前記プラットフォームは閉鎖した向きへ旋回され得、前記プラットフォームを閉鎖する行為によって、補助流路を活動位置へ動かし、及び前記プラットフォームは開放された向きへ旋回され得、前記プラットフォームを開放する行為によって、前記補助流路を非活動位置へ動かす、請求項 6 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 13】

前記プラットフォームが前記開放された向きにあるとき、前記加湿チャンバは前記プラットフォームに積まれ得、及び前記加熱アセンブリは、前記加湿チャンバに係合して、前記加湿チャンバ内の水を加熱する、請求項 12 に記載の装置。

30

【請求項 14】

前記装置は、前記ハウジングに動作可能に接続される補助流路を含み、
 i) 前記装置が前記非加湿モードにあるとき、前記補助流路が前記ハウジング出口ポート及び前記ハウジング入口ポートと連通して、それらの間に前記ガス流を流す活動位置と、
 ii) 前記装置が前記加湿モードにあるとき、前記補助流路が前記ハウジング出口ポート及び前記ハウジング入口ポートから離れているため、前記加湿チャンバが前記動作位置に設置され得る非活動位置と、

の間で動くようにする、請求項 6 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 15】

前記補助流路は、前記プラットフォームに配置され、且つ前記プラットフォームが前記本体に対して閉鎖されているとき、前記活動位置にあり、及び前記プラットフォームが前記本体から離れるように旋回されるとき、前記非活動位置にある、請求項 14 に記載の装置。

40